

令和2年度 第12回 北区自治協議会 議事概要

日 時 令和3年3月17日(水)午後1時30分から

会 場 豊栄地区公民館 大講堂

出席者 委員

神田征男委員、神田恭之委員、赤間委員、松田委員、五十嵐委員、本間藤雄委員、阿部勝幸委員、原委員、山賀委員、清水委員、樺山委員、黒川委員、小池委員、澤委員、菅原委員、相馬委員、藤沢委員、皆川委員、村山委員、渡邊委員、本田委員、阿部美恵子委員、梅津委員、中嶋委員、佐久間委員、本間久文委員、計26人

(欠席：工藤委員、小林委員、鶴巻委員、平松委員)

事務局

[北区役所関係]

市長、保健衛生部長、区長、市民協働課長、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、北区農業委員会事務局次長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館長、地域総務課長補佐2人、地域総務課員4人

傍聴者 2人

内 容

1 開会

2 「令和3年度 新潟市の取り組み」について

松田会長

ただいまから、市長と自治協議会委員との懇談会を始めます。本日は、まず中原市長から、令和3年度新潟市の取り組みについて、ご説明をいただきます。その後、市保健衛生部からの説明ののち、委員の皆さんとの意見交換を行います。全体で概ね1時間を予定しております。なお、意見交換につきましては、本日は自治協議会委員との懇談の場であることから、ご発言は委員の方に限らせていただきます。

それでは、市長より申し上げます。

市 長

皆さん、こんにちは。この北区役所も開庁してから2か月経ちました。新しい区役所での自治協議会は初めてということでもあります。本日は、お忙しい皆様から、自治協議会の懇談会ということでお集まりをいただきまして大変ありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症が新潟ではじめて確認されてから、1年以上が経過しました。皆様から感染拡大防止に多大なるご協力をいただいておりますことを、改めて感謝申し上げます。

本日は、これより新年度の新潟市の予算の主な内容につきまして、皆様方にお話をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

まず、講演の前に、年末から1月9日の10日間にかけて異常降雪となり、市民の皆様には本市の除雪対応について大変ご迷惑をおかけしました。短時間の降雪量としては、10年間で最大を記録し、3年ぶりの大雪となりました。本市は、今年のように数年ごとに異常降雪になりますが、その対応力が弱いということが浮き彫りになったと思っています。ピークの1月9日は、通常のかき分け除雪を、異常降雪時対応に切り替え、ダンプで雪捨て場に運ぶ排雪作業も行い、昼夜を問わず除雪にあたりました。各自治会におきましても、自治会除雪をはじめご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

結果として、短時間の大雪のために除排雪作業が追いつかず、公共交通機関の運休や学校の休校、物流が滞ったことに加え、市民の皆様から2,000件を超えるさまざまなご意見をいただきました。それらを踏まえまして、去る2月15日に市で道路除雪検証会議を開催しました。情報発信や除雪体制、応援体制などの課題を洗い出し、今後の改善への方向性を明確にしたところです。

今後の除雪体制につきましては、除雪協力業者の皆様のマンパワーが不足すると言われており、市民の高齢化も進むと思われま。除雪力はますます低下をするのではと懸念しています。今後とも、市の除雪力を維持し、冬季間の市民生活に支障が生じないように、具体的に何をすべきかを検討し、対応してまいりたいと考えています。市民の皆様からもご協力をいただくことがあると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、発生から1年が経過しましたが、依然、首都圏の緊急事態宣言は継続されており、また新潟県の警報も継続中であり、未だ収束が見通せない状況です。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に負けることなく、市民の命と健康を守ることを最優先としつつ、経済や社会活動も回復させることが喫緊の課題であると考えます。

このような状況の中、私は、令和3年度予算を感染防止対策に加え、本市の明るい未来を

切り開くための予算にしたいという思いで編成いたしましたので、これより、できるだけ簡潔に説明をさせていただきます。

それでは、2 ページをご覧ください。1 ページ目の下段といったほうがいいのでしょうか。はじめに、令和3年度予算についてです。令和3年度一般会計当初予算の規模ですが、昨年度と比べると44億円、1.1パーセント減の総額が3,866億円となります。令和3年度予算は、コロナ禍の影響によって税収が大幅に減少し、厳しい状況の中、直面する課題解決と将来に向けた投資を予算化するために、例年にも増して工夫が必要な予算編成となりました。

なお、国からの地方創生臨時交付金を活用して、令和2年度の12月および2月に補正予算を約140億円前倒しで計上しています。令和3年度と合わせると総額4,000億円を上回る規模となります。今年度の補正予算と新年度予算案を一体として、切れ目なく対応していきたいと考えています。

続きまして、行財政改革の取組みについてです。私が、市長に就任以降、令和3年度までの3年間集中改革を進め、生み出した効果をさまざまな分野に投資をしてきました。新型コロナウイルス感染症への対応という非常事態もありますが、その改革効果は3年間で33億6,000万円となります。その改革効果を活かし、子育て支援などに投資をしてきております。

市長就任当時、小学6年生までだったこども医療費通院助成は、令和元年度に中学3年生まで通院助成を拡大し、さらに令和3年度、来年度ですが、高校3年生まで拡大をしたいと思っています。これによって、高校生までの子どもが医療機関を1回530円で受診することができ、子どもの病気やけがも安心して受診いただけます。全国20政令市中、高校生まで助成しているのは大阪府、静岡県内の4市しかなく、新潟市が5市目となり、今回の拡充でトップレベルの支援水準となります。

また、経済的に就学が困難な児童や生徒へ学用品費の支援をする就学援助制度については、新潟市は所得に応じた階層性を採用しておりますが、2か年かけ、真に支援が必要な家庭により支援を手厚くします。

次に予算編成のポイントです。新型コロナウイルス感染症から一刻も早く平温な日常を回復するため、感染拡大防止対策と経済社会活動の再興の取組みと、のちほどくわしく説明をさせていただきますが、2月に取りまとめました、「選ばれる都市新潟市」の実現に向けた取組みを新年度予算に盛り込み推進してまいります。

6ページのグラフは、今年2月末時点の、人口10万人当たりの感染者数ですが、政令市20市で比較すると新潟市は最も少ない値となっています。他都市と比べ感染者が大変低く抑えられているのは、3つの要因があるかと思っています。1つは、何といたしましても、市民や事業者の皆様が感染防止対策にご協力いただいているということ。2つ目は、医療関係

者の皆さんが、現場において細心の感染症対策を行っていただいているということ。3 つ目は、手前味噌になるのですが、保健所を中心として、濃厚接触者の把握や PCR 検査体制の強化などを行い、感染者を広げないよう取り組んできた結果であると考えています。

次に、今申し上げましたように、これまでは政令市の中では圧倒的に少ない感染状況ではあるものの、昨年 11 月は西区の介護施設でクラスターが発生し、また今年に入ってから、2 月は少し落ち着いていましたが、3 月に入って複数のクラスターが発生しており、全国的に感染の第三波を迎えている現在は、昨年度と比較すると感染者数の規模も大きいですし、感染拡大の期間も長くなっております。全国的な感染拡大は少し緩やかになってきていますが、新潟県の警報は未だ継続しており、現状は決して油断できません。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

これまでの間、スピード感を持った対応を行うため、新潟市において、経済社会再興本部会議を立ち上げ、各業界、団体の皆様からご意見やご要望を、直接市役所にお出向きいただき、お聞きしながら、機動的な施策立案を行ってまいりました。

令和 2 年度は、特別定額給付金の支給、また国の新型コロナウイルス対応臨時交付金、また新潟市の基金を活用し、約 200 事業の新型コロナウイルス感染症対策を講じてきています。

次が、ワクチンについてです。医療従事者へのワクチン接種が既に始まっていますが、4 月中旬から 65 歳以上の高齢者の方への試行接種を始められるよう、準備を進めています。65 歳未満、16 歳までの方については、今後のワクチン供給状況などを踏まえ、順次接種を受けていただく予定です。ワクチン接種の方法については、かかりつけ医などで接種する個別接種と、市の施設などを会場として行う集団接種を組み合わせる予定です。いずれにしても、市の医師会など医療従事者の皆様と協力しながら対応していきたいと考えています。接種に必要な接種券は、3 月下旬に発送を予定しており、予約方法などについては 3 月 28 号の新潟市の市報やホームページなどでご案内いたします。

次に、経済社会活動の再興に向けて、市内企業がコロナ禍に対応していくため、企業同士が連携し、新規事業や IT ツールの導入を行ったりするなど、ビジネスモデルを転換させるための取組みに対し支援を行います。

また、市内の飲食店を支援するための取組みとして、昨年 9 月に発行した 30 パーセントプレミアム付き地域のお店応援商品券の第 2 弾を発行したいと考えています。また、地域の割烹などを対象に、「地域で弁当交流応援事業」が 3 月 1 日から既にスタートしていますが、利用可能なお店をホテルなども対象にします。また、利用できる団体の範囲を、これまでは地域の自治会などでしたが、企業の皆様にもご利用いただけるよう拡充を行い、頑張る地域のお店を支援していきたいと思っていますので、どうぞ自治協議会の皆様からもご活用いた

だきますようお願いいたします。

次に、観光分野の活動の再興に向けてマイクロツーリズム。近距離で地域の魅力を再発見するというのがマイクロツーリズムですが、そうしたことやオンライン活用など、新しい観光スタイルの構築を推進しています。オンライン活用では、旅行前に、例えばオンライン動画などで酒蔵見学をして、旅行中には実際にお酒や食べ物を楽しみ、気に入ったお酒を旅行後にWEBサイトで購入してもらえるようにするなど、実際に訪れた際の満足度やリピート意欲を高める仕組みをパッケージ化したハイブリッド型観光を推進してまいります。

また、観光マインドの向上や消費活性化を図るとともに、MICE 誘致についても、今後の回復に向け、昨年拡充しました補助制度を引き続き継続していきます。

市民の文化活動の再開継続に向けては、なかなかこの状況の中で活動の再開継続等ということが、責任を伴うということで、まだ困難ではありますが、市民参加型の公演の開催などを実施しながら徐々に回復をしていきたいと考えています。

続きまして、「選ばれる都市新潟市」をご覧ください。私が2月に「選ばれる都市 新潟市」という、これからのまちづくりにかける考え方を取りまとめさせていただき、発表したものです。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の価値観や企業の意識が変化しており、社会の大きな転換期を迎えている中、新潟市においても、まちづくりの大きな転換点にあります。このような時期こそ、本市の新しい未来を切り拓くため、市民の皆様にお示しすべきと考え、私のまちづくりにかける思いをまとめたところです。この中のまちづくりの思いのうち、すぐに実行に移せる部分は来年度予算にも計上し、取組みをスタートさせていきます。

下段の「選ばれる都市新潟市」の内容ですが、これからのまちづくりの基本的な方向として3点まとめました。まず、1つ目、新たな都心軸の誕生です。新潟市の一大プロジェクトとして、新潟駅周辺整備事業を推進していますが、大詰めを迎え、来年度中には駅の全線高架化が完了し、併せて今後、JR 新潟駅の駅舎もリニューアルされます。また、万代広場も改装されるということです。古町地区においては、国や市の支援を受けて古町ルフルが完成し、三越跡地も再開発に向けて動き出している状況です。

このように、大きな節目を迎えていることから、古町、万代、新潟駅をつなぐこの距離を測ると約2キロメートルということで、皆様から身近に感じて、期待を持っていただけるよう「にいがた2キロ」と名付け、このエリアを人、モノ、情報が行き交い稼げる都心となるよう活性化させたいと考えており、新潟市全体の勢いにつながるよう、未来に向けたまちづくりを進めてまいります。

次に、2つ目の基本的な方向は、8区のネットワークの深化です。都心エリアと8区の事業

者などがお互いに連携し、新しい価値を生み出すことで、波及効果を新潟市全体に広げていきたいという考えです。

まずは、かなり遡りますが、江戸時代の都心部と8区との関連性を少しお話させていただきます。当時の新潟湊では、北前船に象徴されるように大型の千石船で、大坂や松前と交易し、廻船問屋の豪商が、新潟湊に店を並べていたそうです。この図は、江戸時代の新潟湊と、川沿いに広がる主な取引を示したものです。例えば、当時、新井郷川や小阿賀野川、加治川などの中層河川に沿って、下り荷売却先と言われる、いわゆる市場だそうですが、そういうものが点在し、北前船のシステムと同様に、船主が各所で米や物資に付加価値を付けて売り買いし、仕入れ値と売値の利ざやで稼いでいたということです。

こうした湊と田園地域を網の目のように結んだ河川を、物資が往来する舟運と言っていました。そのネットワークによって、新潟湊では豪商があり、そしてまた広い地域の周辺の田園地域では1,000町歩を超える全国屈指の大地主が繁栄したということです。つまり、江戸時代からの都心と8区とのつながりが、今の令和の時代にも生きていると考えており、都心と8区を結ぶ事業ネットワークこそが、今後の新潟市の発展の鍵になると考えています。

下段の図が、私が考える事業ネットワークを現したものです。都心エリアが人、モノ、情報が集積するプラットフォームとしての役割を果たすことを期待しています。8区には多種多様な人材、それから事業者、地域資源、農水産物があるわけですが、それらと、現在都心のエリアに進出してきているデジタル技術を駆使するITの新進事業者、そういうものが出会いつながり合うことで、この都心と8区を結ぶ事業ネットワークが誕生する可能性があると考えています。この事業ネットワークによる連携・協働が新たな価値を生み出し、生み出された新たな価値が都心を通して広く発信され、新潟市が国内外から注目されることを期待しています。

なお、3つ目の基本的方向は、これまで国や県と連携し、高速道路、新幹線、空港など、拠点化のためのインフラを整備してまいりました。今後も、拠点化プロジェクトを国や県と連携を深め推進していきたいと考えています。

最後に取りまとめとして、選ばれる新潟市を実現していくためのイメージです。図の左側、コロナ禍によって人々の価値観や企業の意識が変化する中、新潟市は都市部もありますが、自然豊かな田園地域が共存していることによる暮らしやすさが私は魅力であり、優位性であると思っています。こうしたことをオール新潟体制でアピールしていくとともに、さらなる住民福祉の向上を図り、暮らしやすいまちを創ってまいります。

次に、図の右側です。新たな都心軸の誕生を契機として、食、農といった強みを最大限活用しながら、農業や食品製造業などの企業や人材が事業ネットワークによって結びつき、経

経済活力や雇用、新たな価値を創造し、訪れたいまち、ビジネスを展開するまちを実現したいと考えます。この2つの流れが好循環し、本市の拠点性をさらに高めていくことで、「選ばれる都市新潟市」を創ってまいりたいと考えています。

下段をご覧ください。ここから先は、今ほどお示ししたまちづくりの方向性を踏まえた、新年度の取組みについて記載をしておりますが、本日は説明する時間がございませんので、項目だけ紹介させていただきます。

「子育て・教育環境を充実」については、こども医療費助成を拡充するとともに、多胎児支援、病児・病後児保育の充実を図ります。次のページは、GIGAスクール構想を推進しています。また、出会いから結婚までの切れ目ない支援を講じていきたいと考えています。

「健康長寿社会の実現」については、認知症の方や家族への支援体制を充実していきます。また、フレイル予防を拡充します。

「暮らしやすさを市内外にアピール」では、新潟暮らし創造運動の推進、東京圏からの移住、就業する方への支援を行ってまいります。

「まちを活性化、賑わいを創出」では、新潟都心の都市デザインを推進するとともに、都市再生緊急整備地域への指定を今、求めているところです。

次に、都心のまちづくりを推進するとともに、古町地区の空き店舗活用への支援や、古町花街の歴史的街並みの保存を支援していきます。

「経済活力を生み、雇用を創出」では、デジタルトランスフォーメーションのプラットフォームの構築、中小企業生産性向上設備投資支援を行っております。製造・物流業の企業立地への支援も引き続き行ってまいります。

「食×農の強みを活かし、本市の産業をけん引」では、スタートアップ企業と市内企業の協業を促進していきます。また、現在、海外との行き来が途絶えている中、新潟産品の輸出を引き続き促進していきます。

「儲かる農業の実現」については、元気な農業を応援します。園芸作物の販路拡大を引き続き行ってまいります。

新年度は、明るい未来を切り拓き、選ばれる新潟市の実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続き皆様からご理解やご協力をいただきますようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

松田会長

ありがとうございました。続いて、新型コロナウイルス感染症ワクチンに関して、保健衛生部の野島部長から説明をお願いします。

保健衛生部長

お手元の、ワクチン接種のお知らせという資料をご覧ください。まず一番上に、接種券を発送しましたとありますが、お手元に届き始めるのが今週末から3月下旬までということですので。今回約23万3,000通の封筒を、郵便局において順次発送するということなので、9日から10日間くらいの期間に市民の皆様のところへ届くと聞いています。

対象は、65歳以上。厳密に言いますと、昭和32年4月1日以前に生まれた方で、新潟市に2月19日現在に住民登録している方に送付しています。これは、国の取組みでもありますので、全国このような条件で送っております。

なお、新潟市に住民登録はないのだけれども、本市内に住んでいるとか、引っ越して来たばかりだとかそういう方については、また個別にご相談をいただきたいと思います。また、16歳以上65歳未満の方には準備ができ次第発送ということなので、まだ発送時期は決まっておりません。

次に、予約接種は5月以降とあります。これまで、いろいろな情報が飛び交っていましたが、県から、新潟市には4月中に2箱、1,000人分しかこないとの公表がありました。1,000人分というのは、今ほど23万3,000人対象者がいると申し上げましたが、この1パーセントにも満たない数です。ですので、4月中は、5月以降の本格実施がスムーズにいくように試行を含めながら準備を進めていくということで、本格実施の予約および接種は5月以降になるというふうにご理解をお願いいたします。

接種の方法は、インフルエンザの予防接種と同じようなイメージですが、お近くの診療所のかかりつけ医などで行う個別接種と、会場を設けて、そこに来ていただいて接種をする集団接種という方法。それから、高齢者施設などに入所している方には、施設にもよりますが、施設へ出張していき接種を行うというこの3種類を考えています。

そして、皆様3週間空けて2回接種をしていただきます。まず、65歳以上の方に一斉に封筒が送られますが、年齢や基礎疾患の有無などにより順次接種を実施するというので、詳しくはまた今週末以降にお知らせをまいります。

接種券は3月末までに届きますが、実際に接種ができるのは5月以降ということで、1カ月以上お手元に持っていていただきます。この接種券がないと受けられませんので、接種開始までなくさないように。大事にしまい過ぎてどこにしまったか分からなくならないように、大切に保管をしていただきたいと思います。

そして、コロナワクチン専用の相談電話を3月末に開設いたします。こちらにかけていた

だくと、予約について、あるいはどこで接種できるのかなどについてお答えができます。番号は、また今後、市報にいがたやホームページなどで幅広くお知らせしていくつもりであります。いずれにしましても、市報にいがたの3月28日号がお手元に届くまでは、封筒はしっかりと保管していただき、また情報については、どうぞお待ちいただきたいと思っております。

松田会長

ありがとうございました。それでは、意見交換に移ります。できるだけ多くの委員から、ご発言いただくために、意見は簡潔にお願いしたいと思います。

山賀委員

今、市長の説明を聞いて、感想ですが、タイトルなどは素晴らしいと思いましたが、具体例が欲しかったという感じがします。2点ほど質問と要望です。

21 ページの「東京圏から移住、就業する方への支援」です。特に今年はコロナ禍で働き方を変えようという話で、リモートワークなどで東京から地方に人が来て、人口がどんどん増えているということが起こっているようです。これは新潟県も新潟市にとっても大変チャンスかと。このことをチャンスととらえて、そういった新しく来る方々に特化した戦略、施設の整備とか、来る人への支援とか、PR とか、新型コロナウイルス対策で地方に行きたいという人たちに特化したような戦略を、ぜひ新潟県とともに一緒にやっていただきたいということが1点です。

もう1つは下の「都市再生緊急整備地域への指定」。多分、新潟市は既に指定に向けた検討をしていると思います。多分、この効果は都市開発に関するいろいろな基準の緩和とか、例えば金融政策や、税制対策などに対する支援だと思います。市と民間企業が対象になると思いますが、できれば、これは指定されることが目的ではなくて、そういうことによって民間なり市が活用して効果を上げることが大事だと思います。例えば、アクションプランを作って、分かりやすい冊子を作って説明に使うなど、指定したあとに本当に動けるような施策をぜひやっていただきたいと思っています。

市 長

ありがとうございました。山賀さんおっしゃるとおりで、やはり、今こうした考え方が変化している。また、企業においては、サプライチェーンの観点から地方移転ということを考えていただけるのではないかと。いうふうに我々も期待をして、このチャンスを一過性のものにしないようしっかりとつかまえて、新潟市内に移住や定住を促進できるように取り組んでい

きたいと思っています。そういう意味では十分な対策になっているかということは、これからさらに強化をしていく必要があると思っていますところでは。

それから、都市再生緊急整備地域への指定について、私より山賀さんのほうが詳しいのかもしれませんが、新潟市としては、既に JR 新潟駅南口の西側に第 1 号となる事業が計画されておりまして、新潟市と今、そうした事業者の皆さんと連携を図っているところがあります。いずれにしても、新潟市の中心エリアのところはかなり建物が老朽化しており、いざ災害となったときの問題もありますので、いくつかの事業を作りながら、そうした建物のリニューアルも促進していくことによって、まちなかで災害が起こっても安全度が高まるように、取り組んでいきたいと思っています。

神田(恭)委員

3月4日に新庁舎の3階会議室で会議をやったときに、隣の部屋の声がすごくよく聞こえるのですが、これはやはりリモート関係を活用するために、そういう設計でやったものなのでしょうか。せっかく市長がいらっしゃったもので、質問をさせていただきまして申し訳ありません。

市 長

少しお待ちください。区長に。

区 長

特に、リモートに合わせるための設計にはしておりません。多分、部屋をパーティションで仕切っていますが、そこがうまくはまっていないとか、いろいろな状況あるかと思いますので、確認いたしまして今後は声が漏れないように検討していきます。

本間(久)委員

私は、新潟に来てよかったということがあります。東京などに比べるとクラシック音楽が安く聴けるといふ非常にいい環境です。

各区にいろいろな文化会館がありますが、その会館を連携して、コンサートツアーのような形でやることによって、チケットを安く買えるなどして県外のお客様を呼べるようなシステムを作れないか。

以前あったラ・フォル・ジュルネや、ジャズコンサートなども、かなり県外から来ています。これだけ各区に文化会館があるので、何かできることはないか。

北区文化会館は非常にいい施設です。りゅーとぴあよりいいというクラシックの方もいますので、

県外の人に新潟市のいいところと聞くと、酒の陣だと。だから、それと同じような感じで、何か音楽のコンサートがあれば新潟に行きたいというというような仕組みづくりも必要なのかと思います。

市 長

新潟は、なかなか外の人から分からないというようなこともよく聞きますが、実際に来てみたり、住んでいただくと、いいところだとおっしゃってくださる人がたくさんいて、大変うれしく思っています。

今のご質問も、それぞれ各区における文化会館といういいものがあるので、クラシックコンサートのようなものを各区の中でもっと開催したり、さまざまな工夫ができないかということだと思います。今日はそちらの担当の方がいないので、今後、今いただきましたご意見を参考に、研究していきたいと思えます。

本間(久)委員

私はうちの家内と一緒にコンサートの主催をやっており。去年も西区で行いました。そういう個人のコンサート主催者に対する補助金制度みたいなものを活用することによって、いろいろできるのではないかと思います。また公共施設以外のホールもうまく活用するというのも1の方法かと思っています。

市 長

ありがとうございます。現在は感染下の中で、そうした会場に対して、利用料金の助成をしていますが、やはり主催者側で、人を集めてのイベントやコンサートに対して最終的な責任が持てないということで、なかなか開催ができない状況であります。今後そういう不安がなくなり、イベントやコンサートができるようになりましたら、今いただいたご意見を踏まえて検討していきたいと思えます。

清水委員

行政改革の取組みの報告について、市全体から考える、当然必要な改革だと思えます。その一方で、私たちの自治会やこういう協議会の活動を通して市を見た場合に、いろいろな問題が今回も山積しているような感じがします。例えば、敬老祝い金の削減や生きがい対応型

通所事業の削減、あるいはコミュニティバスの削減だとか、これらの負担が私たちにかかってきている。こういうものについても、もう少し評価していただければありがたいと思います。もう1つ、2025年の高齢者ピーク対策について、市の考え方を聞かせていただきたい。

市長

ありがとうございます。まず、今ご指摘いただいた、地域の中におけるさまざまな事業の廃止の対応については、私としては真摯に受け止め、丁寧に皆さんに説明をしながら、集中改革を進めさせていただきたいと思っています。

一方で、私が市長に就任したときの状況が、基金でいうと35億円。これまで300億円あった基金は、10年間でほぼ使い切ったということになります。おそらく、単年度でいうと約30億を、合併建設計画に伴う事業で対応してきたというふうに思います。

この預金にあたる基金が既になく、財政が厳しくなったとしても取り出す貯金がない。これではその後の新潟市の行政運営ができない、持続的な市政運営ができないわけです。ですので、ここはやはり、どこのお宅でもそうだと思いますが、大きな木があったとして、生きていくためにとりあえず枝を落とさなければだめなわけです。そのことによって、持続的な行財政運営ができるというふうに私は思っております。私も3年間20パーセント給与削減していますが、みんなで集中改革をやって、新潟市がこれからも続くような改革をやっつけていかなければならないと認識しています。

あくまでもこれが大きな話で、本来は行政の中ではもう少しご指摘いただいたようにメリハリをつけて、政治としてやはり本当に小さなものであっても、必要なことについては温かな対応をすることが必要であると思っています。個別具体の話については、区長から。

区長

今日は市長がいらっしゃるのでも、個別のものは私からまた別の機会にお話をさせていただければと思います。

清水委員

野島部長にお願いします。ワクチンの関係で、マスコミを通じて見えていますとどうも65歳以上は本格的になるのは6月ごろではないかと感じます。最初は1,000人分ということですが、その順序といますか。65歳からといっても100歳など段階がいろいろありますので、その辺の判断をお聞かせ願えれば。

保健衛生部長

65 歳以上と一口にまとめて言いましても、またさらにご高齢の方もいらっしゃいますし、また基礎疾患をお持ちの方は、やはり優先しなければなりません。65 歳以上の方を一斉にやりますと、非常に申し込みが重なって混乱すると悪いので、年齢で時期を区切ってお出でいただくようにしようと思っています。

また、年齢によらず基礎疾患のある方はかかりつけ医にご相談のうえ、早めにお出でいただくということを考えています。年齢の区分など、具体的にはもうしばらくお待ちいただきたいと思います。

樺山委員

接種券を発送しましたとなっていますけれども、発送して下さったのですか。

保健衛生部長

23 万 3,000 通なので、郵便局にはそろそろ届いていると思います。郵便局は集配局というところがあり、一旦そこに印刷業者から持ち込まれます。それが、今日あたり始まっていると思います。その集配局から、今度はさらに地区ごとの郵便局に配られる。そして、実際に皆様のところへ個別に届き始めるのが今週末以降ということで、市からは発送しましたが、まだお手元に届くまでには数日以上かかる形です。

赤間委員

最初の除雪のお話しで、北区ではおかげさまであまり大きな問題もなく、非常に行政が頑張ってくれたということが本音でございます。ありがとうございます。

これは野島部長にあとで答えただければと思うのですが、ワクチンの順番が医療関係者が一番。その次に 65 歳以上がという話も聞いていますが、学校や幼稚園の先生や保育士も少し早めたほうが、感染症拡大防止につながるのではないかとこの私個人の考えです。子どもたちを守るということ。学校は、先生が 1 人でも出ると大変なことになりますので、その辺も考えてもらいたいです。

それから、市長が言われた「儲かる農業」。おかげさまで、濁川にある農園もすごいです。今日も私は通ってきましたが、車が 70 台くらいありますから、1 人で乗ってきても 70 人。2 人乗ってくると 140 人。あの地域は、周りに田んぼと川しかない。その場所で、もうあれだけのお客さんが来て。それこそ儲かる農業につながりますので、全地域にわたって募集するなり援助して、増やしていったらいいのではないかと思います。

それから、にいがた 2 キロ。私個人の希望ですが、2 キロ間の道路を 2 階建てにして、向こうから来るのは 2 階、こちらから行くのは 1 階として、すぐ車停めてお店に用を足せる。1 時間くらい駐車は OK ですと。無料駐車場。そうすれば古町もまた蘇るのではないかと、こんな夢を持っています。最後に 1 つ。私は、今年で終わりです。6 年間ずっと自然文化部会で福島潟のラムサール登録にかかわってきました。やはり北区の福島潟が世界に名を連ねるといことは、地元住民としては非常に誇りが持てる話なので、ぜひ市長もご理解いただくと非常にありがたいです。

市 長

赤間さん、長い間ありがとうございました。

除雪は少し手加減して言っていただいたのではないかと思います。私も、こちらのほうに大雪が降ったとき、視察に寄せてもらいました。すれ違いができないとか、歩道に雪がかなり積もっていて、歩くことができないような状況を目の当たりにさせていただきました。

ただし、先ほどから申し上げているとおり、区の職員も除雪協力業者の皆さんも精一杯やっていたのですが、新潟市が平時の雪であれば何とか対応できるが、あの規模の雪が降るとまだ対応できないと思っております。そうしたことから今回、検証会議を設けて、もう少し雪捨て場の数を増やすとか、情報発信だとかそういうものをもう一回検証して、できることを精一杯やろうと考えていますのでよろしくお願ひしたいと思っております。

それから、少し話がくだけるのですけれども、中央区にいけばショッピングする場所がなく買い物難民になっているという話を聞きます。私は昭和 34 年生まれなのですが、郊外から中心地のほうに行って三越デパートで、デパートの良質なものを求めていた時代から、今日は各 8 区の中に大型ショッピングセンターができて、そこでそれぞれの区民の皆さんが、土日は家族でショッピングをしたり、何かを食べたりすることができるわけです。ところが、中央区の中でも一部では、逆に買い物する場所がない。買い物難民になっているとか、自分たちの地域は過疎になっているというお話をお聞きしています。

そういうふうに、新潟のまちの中も今は大きく変わりつつあるということで、我々新潟市政としては、どこの区に限らず全部の、やはり新潟市の地域の皆さんが豊かで便利な生活ができるように取り組んで行かなければなりませんし、それが新潟市に与えられた課題だと思っています。住んでいる皆さんがさまざまな現状に満足することなくさまざまな問題を抱えているのだということを市長として、日々実感させていただいているところであります。

ラムサール条約については、頑張ります。

保健衛生部長

私から、ワクチンの接種の優先順位のことについて。ワクチンの優先を考えるときに、医療体制を崩壊させないということが、1つの目的です。そうすると、まずは医療従事者を守るとのこと。ですので、医療従事者から先行で接種が始まりました。その次にはかかっても重症にさせない。そうすると、重症になりやすい方、今重症になっている方というのが、やはりご高齢の方。それから、基礎疾患を持っていらっしゃる方が非常に多いということなので、その方々を先に接種しましょうと。それによって、医療体制を守ることが基本的な考え方になって、今の接種の優先性が考えられています。

たしかに、学校の先生をはじめとして、大勢の方と接する方がかからないということも大事なことだと思います。これから一般接種、つまり65歳未満の方の接種が今後始まっていくのですけれども、そこについては優先順位などそういったものはまったく決まっておられませんので、参考にさせていただきます。ありがとうございました。

佐久間委員

子育て世代として、やはり8区の教育の格差を若干感じています。大きな公共施設や学校は中央区にありますし、ここから通うのは時間もお金もかかるということで、そこら辺の支援というか、助成金が出るとうれしいと思います。こども医療費通院助成が高校生まで拡大されたり、子育て世代のこともすごく大事にしているのだということを感じましたし、中央区の人には中央区の人の悩みがあるということが分かったので、あまり北区だから…ということとは言えないなと思いました。

私も県外から新潟市来たときに、北区は車がないと生活できないと言われ、実際に住んでみて本当にそうだなと。それかパワフルに自転車をこぐしかなくて。公共交通の整備について、委員になったときから言っていますが、区内の交通は、子どもたちが使えるバスなどがあまりなく、中央区のように、りゅうとを使って乗れるように、北区も都会のようになればいいという思いがあるので大事にしてください。

こども医療費通院助成はすごくうれしいです。あと、病児病後保育の充実ということですが、北区は病後保育はありますが、病児保育がありません。病児が一番大事という声があるので、ぜひお願いします。

市長

私は子育てを終わってしまった立場なので、うまく言えませんが、振り返ってみると、本当に子育て世代の皆さんの育児というのは非常に負担が大きく、今の時代で子どもを成長さ

せて、小学校、中学校、高校とまたその先まで子どもの面倒を見るのは経済的な負担も大変だと思います。そうした皆さんをこれからもできる限り応援し、新潟市は子育て世代の皆さんに優しい市政だと言われるように頑張っていきたいと思っています。

なお、先ほど 2025 年の話もいただきましたけれども、高齢者の皆さんからも安心して生活ができるように取り組んでいきたいと思っています。

松田会長

それでは、これもちまして、市長と自治協議会委員との懇談会を終了いたします。市長、野島部長ありがとうございました。

3 議事事項

(1) 第 8 期北区自治協議会委員の推薦について

松田会長

それでは、次第 3、議事事項(1)第 8 期北区自治協議会委員の推薦について、座長である山賀委員から説明をお願いします。

山賀委員

議事資料 1「第 8 期北区自治協議会委員名簿（案）」をご覧ください。

先月の自治協議会では 25 番の新潟市農業協同組合からの選出者が決まっておらなかったなのでそのほかの方の説明をいたしました。

今般農協より、現在就任しておられる本田正美委員が選出されました。

推薦会議として、資料の名簿のと通りの 30 名の委員を自治協議会へ推薦しますので、ご審議をお願いします。

若干、補足をすると、今回女性の委員候補が 12 名となっております。新潟市では附属機関の審議会等の女性委員の比率について 45 パーセント以上を目標としていますが、今回は残念ながら 40 パーセントということになります。この大きな原因としましては、第 1 号委員、コミュニティ協議会から 10 名選出されていますが、女性の活躍が素晴らしい中、自治会長やコミュニティの役員等については、男性が多いことがり、すべて男性が選出されていることかと考えます。これからの課題とっております。

また、平均年齢は前回と同じく 60.6 歳でした。40 代以下が 9 名。これは全体の 3 割ということで、比較的高齢化が進んでいるというようことです。

松田会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。では、第8期北区自治協議会委員候補者については、推進会議で推薦した名簿のとおりとして決議させていただきたいと思います。それでは、委員候補者から委員就任承諾を得たあとで、区長から市長へ推薦してもらうことにいたします。ありがとうございました。

(2)令和2年度北区自治協議会提案事業 事業評価書(案)について

松田会長

次に、議事事項(2)令和2年度北区自治協議会提案事業 事業評価書(案)について、各部会長から説明をお願いします。

五十嵐委員

地域づくり部会では、北区交通マップ作成事業を実施いたしました。区内には多様な交通網が整備されており、それらの幅広い活用とさらなる利用促進を図ることを目的として、区民に区内の公共交通を分かりやすくお知らせするため、2つの印刷物を作成しました。1つ目は、北区交通マップです。今までの公共交通を利用したことがない方に、まずは区内にどんな公共交通があるのかを知ってもらうために作成しました。本日、机上配布いたしましたので、ご覧ください。

表面には、公共交通の路線を集約して掲載しました。裏面には、公共交通の主な利用者層である高齢者を対象にした制度や、運転に不安を感じている高齢者やその家族が相談できる安全相談ダイヤルなどのお役立ち情報を掲載しました。また、誰にも親しみやすく、分かりやすい誌面となるように文字の大きさ、配色、誌面のサイズなどの工夫をしました。

このマップは4月1日に区内に全戸配布および区内の主な公共施設に配布予定です。新潟交通のダイヤ改正等の関係もあり、新年度の配布となりました。

2つ目は、区バス・おらってのバス乗り方案内チラシです。利用したことのない人を対象に、乗り方を4ステップで分かりやすく紹介したチラシです。こちらは、昨年12月に各バス路線の自治会に配布しました。

清水委員

事業名は福祉教育部会だよりの発行です。事業目的は主に小学校の高学年から、中学生の保護者を対象にしたパンフレット「みんなの応援パンフレット フレフレ!思春期～心の成長期～」を発行し、子育てについての大切なことを学ぶ機会を設けてもらうことです。また、

子育てを応援したい人に向けたページも設けて、子どもたちの育成環境の改善と子育て支援の機運の醸成を図りました。

内容は、心と体が大きく変化する思春期を迎えた子どもたちの成長に、戸惑ったときの手助けになるよう大事なことを、あるいは相談窓口を紹介しています。

作成部数は1万部です。配布先は区内の小学校、中学校を通して、保護者に配布したほか、放課後児童クラブ、コミュニティセンター、図書館、公民館などの各公共施設に設置をしました。また、1月28日に行われた北区教育ミーティングの際に、委員の皆さんにも配布をしました。

アンケートも実施し、現在140件ほどが寄せられました。「この冊子があなたの役に立ちますか」の問いに対して、大いに役に立つ49.6パーセント、まあまあ役に立つ50.4パーセント、合わせますと100パーセントとなっています。感想は、記載のとおりです。保護者からは、漫画で読みやすかった、分かりやすかった、思春期の難しい子どもがいるので役に立った、また自治協議会の活動が生活に密着していることに感謝したいとの、自治協議会の活動に関する感想もいただきました。小学生や中学生などからは、自分自身の状態が理解できた、子どもは親の鏡だというところがおもしろかった、家族みんなで読みました、LGBTQについて詳しく分かりやすく説明されていて大変うれしかったという感想が寄せられました。

保護者へ家庭教育の大切さを伝えるだけでなく、小学校高学年から中学生の本人、子育てを応援したい人へも届けることで、子どもたちの育成環境の改善と、北区に子育て応援の輪を広げるという目的は達成されたと、福祉教育部会では評価をしました。

阿部(美)委員

私どもは、福島潟賑わい創出事業ということで、目的は、福島潟のラムサール条約登録に向けた理念を広く周知し、区民の理解を深めつつ、機運の醸成を図るというものです。そのために福島潟の魅力を区内外にPRすることで、賑わいの創出を図りました。ラムサール条約登録に向けた研修会や意見交換会は、6月に研修会、2月に意見交換会を実施しました。

啓発パネルの巡回展示は、記載のとおりです。福島潟の魅力PR動画については、豊栄高校の生徒と協働制作しました。新潟日報にも掲載されましたが、若い人たちの感性と、訪れたいくなる福島潟ということで制作をしました。

また、今、1階の交流スペースに展示していますが、福島潟のマスコットキャラクターのクイタイの自立式を制作、PRを行いました。

赤間委員からも話がありましたが、ラムサール条約の意義や湿地保全とSDGsの関係など学び、それを皆さんに広めてきました。意見交換会でもこのような取組みを確認しました。

啓発パネルの巡回展示は、区役所の力を借りて展示しました。

動画については、現在春夏バージョンを撮影しております。

松田会長

ただいまの説明で、ご質問やご意見がありましたらお願いします。なければ、事業評価書(案)のとおりとすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございました。

4、報告事項

(1)「北区自治協議会第7期を振り返って」について

松田会長

次第4、報告事項(1)「北区自治協議会第7期を振り返って」についてです。先回、皆様にご確認いただき修正したものが報告資料です。これを3月12日に開催された区自治協議会会長会議で、私から市長に発表してまいりました。

市長からは、はじめに、この1年は特に感染症対策を図りながら、自治協議会を進めてきたことに対するお礼がありました。また、自治協議会での議論のすべてに対応することは難しいが一緒に考えていくこと、地域への積極的なフィードバックが自治のレベルを向上させていくことにつながるというお話をいただきました。

先ほど決まりました新しい委員にも、この資料を配布して、第7期の思いを伝え、さらなる自治協議会の活性化を図られることを期待いたします。

また、本日、皆様の机上に配布した北区自治協議会だよりを、3月21日に新聞折り込みで区内の各世帯に配布し、我々の2年間の活動を広く区民に報告いたします。

(2)部会の会議概要

松田会長

次に報告事項(2)部会の会議概要ですが、事前送付した資料で、皆様から確認いただき、また、今ほど、各部長から最終的な事業の評価について、報告いただきましたので、この件は割愛させていただきます。

5、その他

松田会長

5、その他であります。今回は、第7期最後の回ですので、委員の皆様から一言ずつお願いいたします。30人近くおりますので1分以内でご協力ください。

神田(征)副会長

私は初めて、自治協議会に参加して、副会長席に座らせていただき、松田会長にしがみつ きながら2年間させていただきました。その中で、皆様のご意見やお話ををお聞きし、い ろいろと勉強させていただきました。本当にありがとうございました。

神田(恭)委員

この2年間、本当にありがとうございました。本当に皆様のお世話になり、また、部会 では、自分の子どもがみんな大きくなって働いている中で、小さい子どもたちのことを部会 の中で精一杯勉強させていただきました。これも参考にして生きていきたいと思えます。

赤間委員

6年間、長いようで短い期間だったと思います。私の人生の5分の1くらいの間、緊張し ながらやりました。あまり結果は出ていないということは反省でございます。今後は、新し い人に頑張ってもらって、私が望んでいるようなものに少しでも近づいていっていただけ れば、今後の希望につながるのではないかと考えています。ありがとうございました。また、 残る方頑張ってください。

五十嵐委員

4年になるでしょうか。我が組織にとって、ご参加の団体、組織を参考にさせていただき、 また私も地域にいる団体にとって、この意見はどんなだとか、そういう方向性で参加し非常 に参考になりました。今後の運営にもぜひ活かしていきたいと考えています。皆様にご協力 をいただきありがとうございました。また、次年度も名前が載っているようですので嫌わな いで、よろしくお願い申し上げます。

本間(藤)委員

もう委員になって早くも4年がついてしまいました。その中で、少しでも発言しようと思 いながらも、今回も少しは発言をしたような気がします。その代わり、ほかの委員の皆さ んにしっかりと本当に貴重な意見をいろいろと出していただき、勉強になりました。区の方々からもいろいろ説明をいただきまして、今後の自分の地元での活動などにも活かしてい

きたいと思います。まだ、もう1期やりますので、もう2年よろしく申し上げます。ありがとうございました。

阿部(勝)委員

今年1年、今回私なりにけっこういろいろなところで勉強をさせてもらい、視野も広げていただきました。これを、コミュニティのほうで少しでも役立てたいと思っております。来年度も名前が載っていますので、またよろしく申し上げます。

原委員

たった2年間でしたが、本当にお世話になりました。私もあまりというかほとんど、全く発言しないで申し訳ありませんでした。

非常に残念だったことは、山賀委員が2、3か月前でしたか。とにかく自治協議会において、いわゆるハード事業、これを建議できるようにしてほしいというような話があったのですが、その結果が出ていないので、非常に残念です。

山賀委員

この自治協議会では、私もせめて2回以上発言しないように1回で止めようと思っておりますが、勉強にもなりますし、いろいろな方々に会えることを楽しみにしています。ただ、今年は懇親会ができなくて、非常に残念でした。会議は同じ話を全員が聞けますが、多くの方が発言できないというところがある。懇親会は、一緒には聞けないけれども本音が聞ける。来年も引き続き委員となりますが、何とかコロナ禍が早く終わって懇親会ができる日が来ればいいなと思っております。ありがとうございました。

澤委員

第6期をやらせていただき、今回で2回目でしたが、知らない用語がたくさん出てきたのと、幅広い期待がたくさんあって、ついていくことだけでせいっぱいでした。この経験を活かして、地元でまた何か参考にさせていただければと思います。ありがとうございました。

小池委員

2年間でした。最初は何も分からずというのが正直なところでした。でも、皆様と市からと、こういう市の体制でやっているのだということが何となく分かったので、これをまた商売、または企業の活動に活かしながら、まちの活性化に活かしていければと思っています。

黒川委員

区長をはじめ、行政の方とのふれあいは、ほとんど初めての経験でした。北区のことが本当に深く知ることができて、長く住んでいましたが、こういう機会を与えていただいて本当によかったと思います。ありがとうございました。

樺山委員

年齢が多いのですけれども、知らないことも多くて、この会は本当に勉強になりました。なかなか、新しいことは吸収できませんが、来期も頑張らせていただきます。お願いいたします。

清水委員

私は、自治協議会の1期目の4年間をやらせていただきました。今回は2回目です。当初の自治協議会の議論の中身と、今はだいぶ違うものだから、一時は戸惑いもありました。どういふふうに議論が進むのかと思っていましたが、幸いにして何とか切り抜けることができました。皆様のご協力のおかげだと思っております。これからもよろしく申し上げます。ありがとうございました。

菅原委員

地域の中で支え合いのしくみづくりを広げるうえで、自治協議会のことを着任して1年目に知り、こうして2年間かかわらせていただきました。区民の皆さんと行政の皆さんで、こうやって地域づくりをするために検討されているのだということがとても勉強になりました。次年度からまた別の推進員になりますが、来年度以降も協働して、支え合いを広めていければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

相馬委員

本当に2年間という短い期間でした。私も、作業の都合でなかなか参加できない部分がありましたが、行政の方や普段出会わない先輩方とたくさん会話していただき、勉強をさせていただきました。大変ありがとうございました。

藤沢委員

2年間でしたけれども、特に、この2年の思い出としては、子育て応援パンフレットが素

晴らしく好評で、私も福祉の中でも、特に児童家庭福祉を専門にしておりますので、この冊子が北区の子育てをしている皆様の応援になったのではないかと。その一端にかかわらせてもらえたことは大変光栄だと思っております。

また、もう一つ忘れられない思い出は、教育福祉部会で大変おいしいランチを一緒にいただいたことが忘れられません。

なお、もう1人学生の委員の小林は本日欠席しておりますが、本日は卒業式でございました。なかなか、卒業年度ということで、学生としてこちらに出席が叶わないこともあったのですが、地域の皆様に大変育ててもらったと思います。ありがとうございました。

私は来年もやりますので、まだ卒業しませんので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

皆川委員

商工会関係では、産業振興課や、仕事柄、建設課や北下水道室と交流はありますが、区長や市長と直接話す機会というのは、なかなか普段はありませんので、こういう機会にいろいろと意見交換をできたことを大変うれしく思っております。

また、来年以降、もう1期2年間やらせていただきますので、また次期もよろしく願いいたします。ありがとうございました。

村山委員

最初の1期目の2年間は、教育文化部会のほうで、子どもたちに関係する仕事をさせていただき、普段はお話のできないお母さん方と関わらせていただいた記憶があります。そのあと2年おいて、また再び自治協議会に入らせていただきまして、今度は地域づくり部会ということで、自分がやっている住民バスも含めた形での仕事をさせていただきました。この2年間はコロナ禍もあり厳しい1年でしたけれども、いい勉強をさせていただいたと思っております。これで、私は任期が終わりましたので、次のうちの団体のメンバーに期待をするだけです。都合4年間ありがとうございました。

渡邊委員

私は今期が初めてですけれども、このような場で発言することはあまり機会がないので、本年度、勉強になりました。その中で、1年目が慣れるのと勉強に一生懸命。2年目は、少しずつ部会でも発言できるようになったというか、発言しやすくなりました。2年目は、これを聞いてみようかと思っても、自分の考えがまとまったときには、すでにタイミング

が遅くなったりしていました。次期もお世話になりますので、もう少し発言して、自分から参加できるようになれたらいいと思っています。また、来年もお願いいたします。

本間(久)委員

2 期の間、実は皆勤でした。1 期目は地域づくり部会の部会長という形で、どうしても休めないという状態でありました。2 期目は、自然文化部会で副部長としていろいろな形で参加させてもらいました。いろいろな形で勉強になった自治協議会だったと思っています。

最後ですが、私から苦言を一つ。五輪の委員会の森会長がおっしゃっていました。「女性が増えると時間がかかる。」ところが、この自治協議会は女性の発言がほとんどない。もっと発言してほしいと思います。一言も本会議で発言されなかった方がおられると思いますけれども、ぜひ、必ず 1 期のうちというより、1 年以内に必ず一言でもいいですから意見や発言をしていただければと思います。今後とも皆さんの活躍を願っております。

佐久間委員

行政が住民のために、こんなにも細かく検討し、審議しているということ、一住民としてここに参加して知り、とても感激しました。老若男女いろいろな立場の方の意見をここで聞くことができ、本当に勉強になりました。松田会長のアットホームな司会進行のおかげで、私はとても恥ずかしがり屋ですが、発言できて感謝しています。部会でも、意見を出し合いながら、たまにけんか腰になりながら、自分の意見を取り入れてもらい、そして北区の人々に配られて、みんなの目に触れてもらうことができたのは本当にうれしく、やりがいがありました。頑張った書いた課題文のおかげで、来期も自治協議会に参加させていただくことができたので、頑張りたいと思います。どうも 2 年間ありがとうございました。

中嶋委員

2 年間大変お世話になりました。地域教育コーディネーターとしても大変未熟で、勉強不足だったので不安でしたが、皆さんの熱いご意見をお聞きし、子育て世代として福祉教育部会で活動に参加させていただくことができ、とても勉強になりました。4 月からは佐久間さんを見習って、少しずつ意見を言えるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

梅津委員

地域のことで知らなかったことがたくさんありましたが、この 4 年間でいろいろと教えて

いただき感謝あるのみです。

最後に先ほどの市長との懇談会で、時間切れで言えなかったので、市長はいらっしゃいませんが、北区で頑張っていたきたいと思うことが一つあるので言わせてください。

少子化対策ですが、本当に子どもたちの数がどんどん減っています。その少子化対策で何をすればいいのかということ自分なりにいろいろ考えているのですが、今、不妊治療をされている方が本当にたくさんおられます。本当に予約が取れないくらいにたくさんです。皆さんとても苦労しています。少子化対策の一つとして、やはり勤めている方が不妊治療に、病院に行きやすい環境を整えていってほしいということを最後、もうここに座ることがないと思いますので、本日お願いしていきたいと思います。ありがとうございました。

阿部(美)委員

私は4年間すべて自然文化部会でした。部会になると皆さんいい意見を出してくださるので、先ほど原さんが発言してないと言いましたが、部会ではたくさん話してくださりありがとうございました。原さんが先ほどお話したように、ハードができないことがとても残念です。本当に自治協議会でも、ハードの予算が使えるといいと思っています。本当に4年間ありがとうございました。皆さん元気で頑張ってください。

本田委員

2年間ありがとうございました。私も、本当にこの会に出ると分からないことが多くて、勉強になりました。自分が住んでいる北区をもう一度見直すことができ、福島潟の素晴らしさをもう一度確認することができてよかったと思っています。

私は今、女性部の立場で、女性として農家、そういう立場から、この事業でどういうことを発言していいのか、すごく悩んだ2年でもありました。自分たちの団体に持ち帰って、自治協議会の会議があったことを報告して意見を聞き、これからはもう少し発言できるようになれたらいいと思います。自然文化部会では阿部部会長がよくしてくださって、本当に楽しい2年間でした。

私も今回で終わる予定だったのですが、縁があって、もう1期させてもらうことになりました。また、これからも2年間よろしく申し上げます。

松田会長

6年間お世話になりました。この間に本当に多くの皆さんと出会いがあって、そのことが私には一番財産であり、うれしいことでした。この2年間は大役を仰せつかって、全体会の

進行係も務めさせてもらいました。あまり堅苦しくないように、皆さんが話しやすいように心がけていたのですが、今ほど、佐久間委員からアットホームというようにお話をいただいて、少しはよかったかというふうにうれしく思いました。

ただ、反省として、どうもこの形だと、話しづらいという方もいたかと思います。もう少し小グループでワークショップ形式でやるとか、形を変えてテーマを絞って、北区の課題について、みんなで話し合う。ときには、部会をやめて、全体会をずっとそういうふうな形でやってみるといようなことも工夫すればよかったと反省しております。事務局の皆さん方、それから委員の皆さんには大変お世話になり、無事に務めることができたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

続いて、北区役所で退職される所属長から一言ごあいさつをいただきます。

北消防署長

北消防署の井上です。7期の皆さんとは、ちょうど同じ2年間勤務させていただきました。この3月で定年退職ということになりました。本当に2年間ありがとうございました。

建設課長

建設課の菊地です。2年間大変ありがとうございました。建設課の課長ということで、自治会や地域の皆様方から多くのご要望等をいただきました。実現できなかったことも多々あったかと思えます。そうした中でも皆さん方と一緒に考えて、充実した2年間を過ごすことができました。

この3月末をもちまして定年となりますが、退職してからも皆様方と何かの機会でご縁があるかと思えますので、その際はよろしくお願ひします。大変お世話になりました。

健康福祉課長

4年間お世話になりました。健康福祉課としては、平成29年度から北区内の統一ですとか、翌年30年には、老人憩の家寿楽園の廃止など、たくさん課題がありました。自治協議会の委員の皆様方からは、貴重なご意見をたくさんいただきました。できるだけ皆様の意見を汲んだ形でさせていただいたつもりですが、私としても非常に反省が多いところです。

健康福祉課としては、まだまだ課題がたくさんあります。けれども、新しい課長とともに健康福祉課職員一同、精一杯頑張っていりますので、引き続きよろしくお願ひします。

また何か機会があって、皆様方と交流する機会もあるかと思えますが、その際はどうぞ、お声をかけていただけたらと思えます。

自治協議会の委員の方々からは、令和元年度に大学生の介護セミナーということで提案いただいた事業を、引き続き健康福祉課事業として実施させていただいており、そういった交流も本当によかったと感じております。ありがとうございました。

区 長

私からも一言、皆様に感謝の言葉を述べさせていただきたいと思います。私もこの4月にまいりましたが、コロナ禍でなかなか皆様とお話することができなかったということが、今年の1年の感想でございます。先ほど委員の中で、思うところはあるが、なかなか発言ができないとおっしゃった方が何人かいらっしゃいました。お気持ちはよく分かります。私も、本当に人前で話をするのは苦手なほうですが、ここではとても気持ちよく話をさせていただきました。皆様のおかげです。

今回をもって退任される委員の皆様におかれましては、長い間ありがとうございました。退任をされても、引き続き北区民の皆様でいらっしゃいますので、ご意見、ご要望などございましたら、区役所でも出張所でもかまいません。いつでもお話を聞かせていただきたいと思います。1年間ありがとうございました。来年度もコロナは続きそうですが、少しずついい方向に向かっていくのではないかと期待し、また皆様と1年を過ごしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

松田会長

ありがとうございました。予定された議題および連絡は以上であります。
それでは、第7期北区自治協議会を終了いたします